

7 上越で『体を動かす』

上越市合併20周年

20年のあゆみ 2005 平成17年 令和6年 2024



えちご・くびき野 100kmマラソン

2年に1度開催されるウルトラマラソン。2024年の大会では、100kmコースのスタート・ゴールが謙信公武道館、50kmコースはうみてらす名立をスタートし、謙信公武道館にゴールしました。コース途中にある各地のエイドのおもてなしが全国から集まるランナーに力を与えました。



米山山麓ロードレース



日本海と標高993mの米山に囲まれた柿崎で毎年4月に繰り広げられる春恒例のロードレース。雪が残る米山や日本海の景色がランナーの目を楽しませてくれます。ハーフのコースでは、米山の中腹まで一気に上がり、一気に下るといった高低差250mのチャレンジングな急坂があります。

高田城ロードレース



毎年6月に開催される上越市街地がコースとなるロードレース。2017年にリニューアルした高田城址公園陸上競技場をスタート・ゴールに全国から集まった参加者が、上越路を駆け抜けます。

大潟体操アリーナ



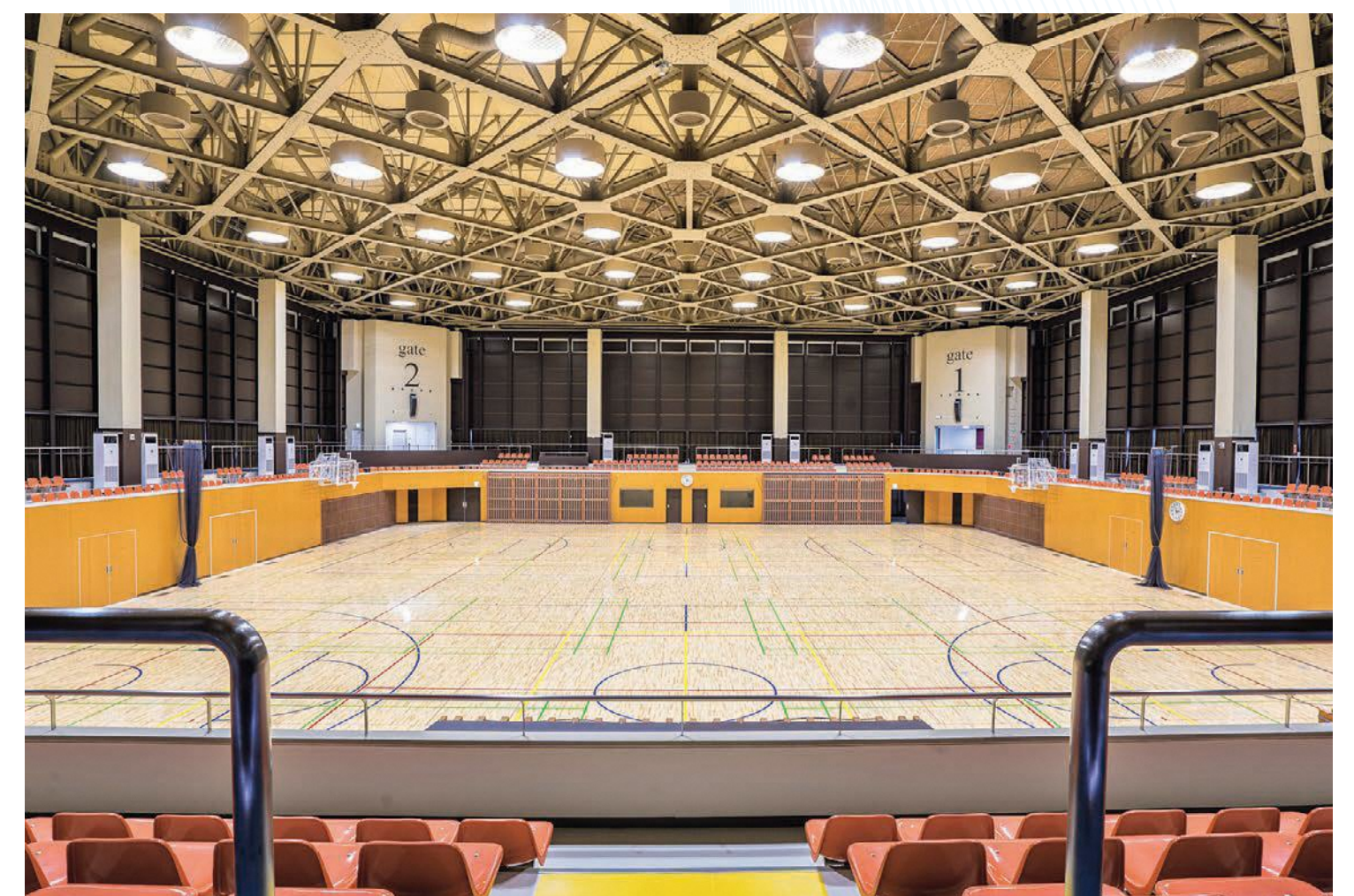
2008年にオープンした国内でも有数の体操専用の練習施設です。本格的な体操器具を完備し、市民のみならずだけでなく全国の学校や海外の体操クラブの合宿などにも利用されています。

上越体操場ジムリーナ



2020年にオープンした体操競技、新体操、トランポリンの国際体操連盟公式競技認定の器具を備えた体操専用施設です。全国屈指の競技環境をいかし市内の競技力向上はもとより、大会や合宿の誘致による交流人口の拡大などを図っています。

上越市総合体育館



市の拠点体育施設として、市民スポーツ活動の振興を図るために設置されました。幅広い競技の大規模な大会などが行えます。ユニバーサルデザインを考慮した上越勤労身体障害者体育館も隣接し、両施設とも2022年4月にリニューアルオープンしました。

東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるドイツのホストタウンとして、スポーツ振興やドイツ文化を広める活動などが行われました。オリンピック体操チームとパラリンピック柔道チームが合宿を行い、大会前の調整を行うとともに市民のみならずと交流を深めました。

●オリンピックドイツ体操チーム

2021年7月に上越体操場ジムリーナで10日間の合宿を行いました。コロナ禍での実施だったため、オンラインでの交流となりました。



㊤:ジムリーナでの合宿の様子
㊦:選手たちと交流をした直江津小学校の児童からのメッセージ



●パラリンピックドイツ柔道チーム

大会前の合宿を含め、3回の合宿を行いました。コロナ禍前の合宿では、市内の柔道家や子どもたちとの交流も盛んに行われました。



㊤:コロナ禍前の合宿での子どもたちとの稽古の様子
㊦:直江津南小学校の児童から手づくりの金メダルを贈呈



●聖火リレー



2021年6月には市内で聖火リレーが行われました。8月には、全都道府県で集められるパラリンピックの聖火を採火する聖火フェスティバルが行われました。

●聖火フェスティバル

